

經濟水道委員會

說明資料

令和2年12月7日
觀光文化交流局

目 次

	頁
1 事業手法選定の経緯	1
2 PFI方式のメリット及びデメリット	2
3 指定管理者制度導入のメリット及びデメリット	2
4 事業手続きのスケジュール	3

1 事業手法選定の経緯

(1) 検討した事業手法

区分	従来方式	DB方式	PFI方式
概要	設計、工事を市が行い、別途維持管理運営者を選定	設計、工事を包括的に性能発注し、別途維持管理運営者を選定	設計、工事及び維持管理運営を一括して民間に委ねる

(2) 経緯

区 分	内 容
平成29年度	「国際会議場の整備に関する調査業務委託」において、整備運営事業を従来方式、DB方式、PFI方式で比較検討
平成30年度	経済水道委員会所管事務調査において、運営期間20年間で想定した比較検討の結果を踏まえ、VFMの削減率が最も高いPFI方式により事業を進める旨を報告

注 VFMは、従来方式と比較してそれぞれの方式が総事業費をどれだけ削減できるかを示す割合

2 PFI方式のメリット及びデメリット

区 分	内 容
メリット	<ul style="list-style-type: none">・事業費の削減が期待できる・民間資金の活用により、財政支出の平準化が図られる・民間の経営上のノウハウ及び技術的能力を活用できる・公共が負担しているリスクを官民により適切に分担できる・指定管理期間を長期に設定することで、良質なサービスを安定かつ継続的に提供できる
デメリット	<ul style="list-style-type: none">・公共サービスの品質を維持するために、行政が民間事業者の業務状況を把握して管理や指導を行う必要がある

3 指定管理者制度導入のメリット及びデメリット

区 分	内 容
メリット	<ul style="list-style-type: none">・主要施設の利用率が向上した・市の収支が向上した・民間事業者の発想を活かしたサービスの導入が図られた
デメリット	<ul style="list-style-type: none">・指定管理期間ごとに指定管理者が変更になった場合、サービスの連続性が確保できない可能性がある

4 事業手続きのスケジュール



